第 308 回支部幹事会より

8 月 23 日 (木)14 時 30 分～ 於 じばさんびる 503

参 加 3 人

◆情勢では日本経済新聞が提案している、社会保障財源の圧縮の是非について議論した。医療運動対策では、「みんなでストップ！患者負担増署名」の支部目標について議論し、会員参加率 15%、署名数 5600 筆を目指すことを決定した。今後の予定として、褥瘡について学術研究会を開催すること、バスツアーを開催することが確認された。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。

お問い合わせは、TEL 078-393-1807 ＦＡＸ：078-393-1802

E-mail：kuriyama-h@doc-net.or.jp 担当事務局 : 栗山まで

支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしくお願いします。

お問い合わせは、TEL 078-393-1807 ＦＡＸ：078-393-1802

E-mail：kuriyama-h@doc-net.or.jp 担当事務局；栗山まで

開業医手作り 月替わり健康情報

健康情報テレホンサービス

☎ 0120-979-451

9 月のテーマ

月曜日 RS ウイルス

火曜日 介護報酬改定で何が変わったか

水曜日 むくみのはなし

木曜日 内視鏡による消化器手術

金土日 統合失調症

10 月のテーマ

月曜日 アレルギー性結膜炎

火曜日 健康寿命と口腔ケア

水曜日 椎間板ヘルニア

木曜日 非結核性好酸菌症について

金土日 うおのめとたこ

患者さんにオススメください！

兵庫県保険医協会
姫路・西播支部ニュース

No. 245　2018 年 9 月 5 日発行

発　行　兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先　〒 650-0024　神戸市中央区海岸通 1-2-31　神戸フコク生命海岸通ビル 5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807　FAX/078-393-1802

第 33 回支部総会を開催

家族が認知症になったら自分に何ができるか

姫路・西播支部は 7 月 21 日、ＪＡ兵庫信連姫路支店で、第 33 回総会を開催した。総会議事では、2017 年度活動まとめと 18 年度活動方針を採択するとともに、正木茂博先生を支部長に、宗実琴子支部長を名誉支部長に選任する役員改選を行った。記念企画では映画「徘徊―ママリン 87 歳の夏」上映会、室井メディカルオフィス院長の高森信岳先生がミニ講演を行い、市民ら 18 人が参加した。

周囲の人が認知症になったときに
何ができるか映画を観て考えた

映画上映前に、室井メディカルオフィス院長の高森信岳副支部長が、「アルツハイマー型認知症について」をテーマにミニ講演を行った。アルツハイマー型認知症で現在考えられている発症機序について、アミロイドβの蓄積の後に、タウ蛋白質の変性が起こり、神経細胞が破壊されて認知機能障害が起こることを例えを使いながら市民にも分かるように解説した。治療薬の開発については、アミロイドβの蓄積を防ぐ薬やタウ蛋白質変性を防ぐ薬などが研究されていると紹介した。

ミニ講演に続いて上映した映画「徘徊―ママリン 87 歳の夏」は、大阪市北浜に住む認知症を患う母と、その母と一緒に暮らす娘が登場し、昼夜の別なく徘徊する母を見守る娘の日常生活を映したドキュメンタリー映画。困難な暮らしの中にもユーモアを交えながら、生活を営んでいく様子を通して、身近な人が認知症

2面に続く―

―1面の続き

になったときに自分に何ができるのかを考えさせられる映画となっている。

総会議事では、白岩一心副支部長が議案に基づいて医療・社会保障・政治情勢と 1 年間の支部活動について報告し、2017 年度の活動方針を提案し、協議の上承認された。姫路西播支部役員の改選も併せて行い、宗実支部長に代わり正木先生を新支部長に選出。小松盛樹先生が新たに支部幹事に就任した。 以下に選出された支部役員の一覧と、映画上映会参加者の感想、出席した宇野千里支部幹事の感想文を紹介する。

総会議事の様子

第 33 回姫路西播支部総会で選出された支部役員一覧

■ 支 部 長
正木 茂博（神崎郡） 新

■ 副支部長
清水 映二（たつの市）
高森 信岳（揖保郡）
白岩 一心（赤穂郡・歯科）

■ 幹 事
石橋 悦次（姫路市）
津田 賢治（姫路市・歯科）
綱島 武彦（姫路市）
西川 義規（姫路市）
古谷 素敏（姫路市）
桃井 健仁（姫路市）
松浦 伸郎（姫路市）
小松 盛樹（姫路市・歯科） 新
宇野 千里（たつの市）
京 寿学（相生市）
宮本美智子（佐用郡）

■ 名誉支部長
宗実 琴子（姫路市） 新

■ 顧 問
杉本 敏夫（相生市）
野中 仁作（姫路市）
湯之上 茂（姫路市）
河原 幸義（相生市）

★映画上映会参加者の声★

○実に今後の参考にもなり、如実であるが故、自分に置き換えるとあんな対応ができるのかと問うても、不可能のように思えます。アミロイド β を減らすこととか、認知症の予防はできるのでしょうか（歯科医師）

○認知症のおばあちゃん、私だったら一日中腹の立つことの連続であろうが、娘さんがユーモアのある人で救われるように思えた（医師）

○周りにアルツハイマー型認知症の方がいないので、内容がとてもリアルでいろいろと考えました。親のことなども…（市民）

○じっと見入ってしまいました。気長に構えることが大事ですね（市民）

感想文　認知症について改めて考える機会に

物語の舞台は大阪北浜にあるマンションの一室。ここでギャラリーを営むアッコ（酒井章子）さんとその母・アサヨさん（87 歳）が暮らしている。アサヨさんの夫は 16 年前に他界し、奈良で一人暮らしをしていたが、８年前に認知症と診断され、６年前から娘の章子さんが引き取り、同居生活を始めた。

「ここは誰の家？　刑務所？」「ちゃうちゃう､ここはアッコちゃんのおうちや」「ホント？」「刑務所はこんなユルユルな状況ちゃうよ」

大阪だけにボケとツッコミの漫才のような親子の会話が毎日繰り返される。アサヨさんは理解力が低下しており、簡単なこと以外はほとんど通じていないようだ。家で飼っている２匹のネコは無視してぬいぐるみに一所懸命に話しかけたり、そうめんのつゆを飲もうとしたり、アサヨさんの行動はどこかちぐはぐだ。アサヨさんは思いつけばいつでも徘徊に出かける。章子さんも母を尾行して、母と通行人の会話がもつれそうになると、間に入ってトラブルになるのを防いでいる。

過去に４年間で家出回数は１３８８回におよび、徘徊時間は１７３０時間にも達する。章子さんの苦労はどれほどであったかと推測されるが、彼女は認知症の母のことを周りの人にオープンにしており、一緒に居酒屋に行ったりして楽しんでいる。娘さんの、母をありのままで受け入れている包容力が、映画を観ている私たちには救いとなる。娘と母親との絶妙な距離感を私たちも見習いたい。

【たつの市　宇野　千里】

パンフレット（無料）をご活用ください

▲こども医療費助成と福祉医療パンフレット

▲くらしと命を守るハンドブック

「こども医療費」については、新たに加古川市が「中学３年生まで無料」となり、県下 41 市町の９割に広がりました。

協会は、「こども医療費助成と福祉医療パンフレット」と、税・医療費・介護保険などの役立つ制度をまとめた「くらしと命を守るハンドブック（兵庫県社会保障推進協議会作成）」を頒布しています（無料）。医療機関スタッフの学習用や、待合室に置いていただくなど、ご活用をお願いします。

ご注文・お問い合わせは、TEL 078-393-1807 政策運動広報委員会まで